

第24回国土技術開発賞 最優秀賞!

第24回国土技術開発賞表彰式が東京国際フォーラムで開催され、水資源機構と鹿島建設(株)が応募した「遮水性盛土の総合的な品質管理法」が最優秀賞を受賞しました。

水資源機構として、今後も土木技術の発展に貢献していきたいと思っております。

詳細につきましてはこちらよりご覧ください。



第24回 国土技術開発賞

主催：一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 沿岸技術研究センター



河川功労者表彰(日本河川協会)

令和4年河川功労者として、水資源機構事業にかかわる1者2団体の皆様が受賞され、6月2日(木)に都内で表彰式が開催されました。なお、ご欠席の皆様におかれましては、後日、関係機関より表彰を授与しました。受賞された皆様、誠におめでとうございます!

すずき けいすけ

鈴木 啓祐様

平成14年から猪名川漁業協同組合専務理事、平成23年から組合長として、一庫ダム上下流の在来魚保護の禁漁区設定やアユ産卵床整備及び河川清掃など、長年にわたり河川環境の保全と啓発活動へのご尽力、ご功績が広く認められ、受賞されました。



しん まちがわ

認定NPO法人 新町川を守る会

平成2年に発足以来、新町川等の河川清掃や花壇の整備や吉野川の上下流域住民と連携し、吉野川源流での広葉樹等の植樹や森林整備、森林の状況調査を行うなど、河川美化、河川愛護活動へのご尽力、ご功績が広く認められ、受賞されました。

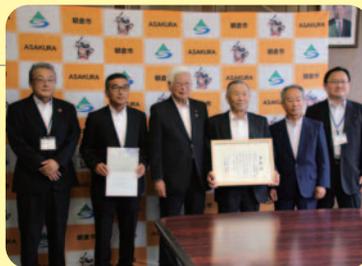
6月24日(金)に新町川水際公園にて、吉野川本部の木下本部長より授与されました。

こいしわらがわ

しもとどうち

小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会

平成13年から長年にわたり、小石原川ダムにおける上下流交流イベント「水をつなぐ流域交流in下戸河内」を主催し、水源地の植樹活動やミニ運動会等を通じて上下流の住民の交流を深め水源地の保全や水循環の健全化や水源林の保全へのご尽力、ご功績が広く認められ、受賞されました。





●合唱組曲「利根川源流讃歌」に続く
「私と利根川」
新曲発表会開催

5月17日(火)に群馬県渋川市の会場にて、利根川源流讃歌の事務局と参加者による歌集「私と利根川」の新曲発表会が行われました。

「利根川源流讃歌」は、猪熊道子さん(高崎市在住)が利根川やみなかみ町内にある4つのダムへの想いを綴った詞に、大西進さん(横浜市在住)が作曲した組曲であり、平成13年(2001年)から参加者を集めて、この組曲の発表会を精力的に行っています。



今回の「私と利根川」は、利根川源流讃歌の作曲をされた大西進さんが「今までの組曲を歌い継ぎ、次世代へ繋げるためには、新しい愛唱歌があったらいい」という想いのもと、メンバーが募集した歌詞をもとに作曲した新曲の歌集となります。

コロナ禍の影響により開催がままなりませんでしたが大西さんにもお越しいただき、満を持して新曲を披露することができました。

10. ダム放流の旅路【低水管理編】 (「私と利根川」第10番)

- | | | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|--|---|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ダムの貴重な放流水は
1日半かけ 栗橋へ
1日半かけ 栗橋へ
1日半かけ 栗橋へ | どこかで 雨が降ったなら
放流量を 絞ります
放流量を 絞ります | 利根川本川 不足となれば
上流ダムから 放流します
上流ダムから 放流します | いつも過不足ないように
それぞれ下流 潤します
それぞれ下流 潤します | 下久保 草木 渡良瀬は
それぞれ下流 潤します
それぞれ下流 潤します | 相俣 藪原 ハツ場ダム
それぞれ本流 支えます
それぞれ本流 支えます | 矢木沢 奈良俣 藤原ダム
利根川シリーズ 3兄弟
利根川シリーズ 3兄弟 | 首都圏水源 利根川ダム群
今日もしっかり用水補給
発電通して流します |
| 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 |
| 時代は管理もDX
AI技術も活用するが
最後はやはり 人間です | 毎日毎日予測して
必要量を放流し
川の潤い保ちます | しっかりと補給 できました
職人業が 光ります
職人業が 光ります | その後は 江戸川分派して
水の旅路も 終了です
水の旅路も 終了です | 渡良瀬川と合流し
ようやく 栗橋到着です
ようやく 栗橋到着です | 利根大堰で二手に分かれ
さらに下流へ進みます
さらに下流へ進みます | 渋川 前橋 伊勢崎 太田
ゆったり平野を流れます
ゆったり平野を流れます | みなかみ 沼田 我妻は
山岳地域を 通過します
山岳地域を 通過します |